

広報 あいづ ばんげ

3

No.655
2019

目次 - CONTENTS -

平成 31 年農作業標準賃金協定額	4
平成 31 年会津坂下町農地賃借料情報	5
国保の窓口	6
食育だより No.11	7
齋藤町長のスマイルトーク・まちの話題	8
図書室だより・町史編さん調査余話(9)	11
お知らせインフォメーション	12
こどもと健康の広場	16
坂下南幼稚園で小俵引き／節分豆まき会	18

子育てを1人で抱え込まないで
ホームスタートばんげ

子育てを1人で抱え込まないで
頼ってほしい

ホームスタート ばんげ

子育て世帯の孤立化が問題となっている今、親の精神面を支えてくれる存在が求められています。

皆さんは「ホームスタート」をご存知ですか。会津坂下町の子育て支援の一つで、ビジターと呼ばれるボランティアが子育て中の家庭を訪問する「家庭訪問型」の支援です。このホームスタート事業を行っている「ホームスタートばんげ」のスタッフの皆さんにお話を伺いました。

ホームスタートとは

「ホームスタート」は、全国約100か所で行われている子育て支援です。ビジターが週1回ほど子育て世帯を訪問し、親に寄り添いながら話を聞いたり、親子と一緒に家事や育児をします。

気軽に悩みを相談できることから、子育て中の孤独感や息苦しさの解消、親の気分転換の助けとなってきました。

県内では10市町村で行われており、当町は「NPO法人こころの森」に事業を委託し「ホームスタートばんげ」として支援を行っています。支援

が始まったのは平成23年。※ファミリーサポート事業で子育ての相談が多く寄せられたことがきっかけで、県内で最も早く支援が行われました。東日本大震災では、当町に避難し、環境の変化に戸惑う親子の精神面を支えました。

支援開始から約8年が経ちましたが、「親の気持ちに寄り添う」という信念はずっと変わらず、今も多くの親子を支え続けています。

※ファミリーサポート事業：子育て世帯を対象に、子どもの預かりや保育施設などへの送迎を行う支援事業。

悩みを抱え込んでしまいう方に「ホームスタート」を利用してほしい

「子育て中の様々な悩みを全部抱え込んでしまいがちな方にぜひ利用していただきたいです。自分の家族や友人には相談しにくいことでも、第三者の立場であるビジターには相談しやすかったという方もいます。」と語るのは、ホームスタートばんげの担当者である白井美由希さん。制度を利用することで、悩みを打ち明け、心のゆとりを取り戻すきっかけとなっているようです。

ホームスタートを利用するには？

○対象：6歳以下のお子さん
がいる家庭（一番下のお
さんが6歳以下）

○支援の内容：

- ・お子さんと一緒に遊ぶ。
- ・親子と一緒に出かける。
- ・一緒に離乳食や料理をつくる。

・何気ないおしゃべり。
※詳細はお問い合わせください。

○支援の回数：週1回2時間、
合計4回。

○利用料金：無料（訪問活動は無償ボランティアです）。

○申込方法：「ホームスタートばんげ」に、電話かメールで申し込み。

☎・FAX：23-9320
Mail：b-family@gm.tp1.jp

○所在：

字西南町裏甲 3998-1
会津坂下町保健福祉センター内 2階

ホームスタートばんげ Q & A

私たちが最高の笑顔で
お手伝いさせて
いただきます！



ホームスタートばんげ オーガナイザー
白井 美由希さん 齋藤 恵子さん

※オーガナイザー…養成研修で家庭訪問のノウハウを学んだスタッフ。利用者の希望に合ったビジターを紹介し、ビジターと利用者の日程調整を行うなど、両者をつなぐ役割を持つ。

Q 子育てを経験した地域の先輩ママがビジターとして対応します。
A ホームスタートばんげのスタッフは、ビジターが27人、ビジターと利用者をつなぐ役割を持つ※オーガナイザーが2人います。ビジターは、子育ての現状などの講習を受けたボランティアです。約37時間の講習を受け、最近の子育て事情などをしっかりと学んでいます。安心してご利用ください。

Q どんな人が対応してくれるの？

A もちろんOKです。電話1本いただければ、すぐに対応します。

Q 気軽に利用しても大丈夫？

Q いろんなことをお願いできるの？

A この制度は家事代行やベビーシッターを行うものではなく、親子とビジターと一緒に触れ合うというのを目的としています。家でお子さんと一緒に折り紙や絵かきをしたり、みんなで公園に行ったりと、様々なことができますが、利用される方の希望を伺って訪問します。

訪問にあたっては、利用者さんに寄り添って活動し、育児の悩みや不安が少しでも軽くなるように笑顔で接しています。



取材にご協力をいただいた
ビジターの皆さん

利用者の声

ホームスタートばんげの利用者から、たくさん感想が寄せられています。その一部を紹介します。

「ビジターさんと子どもが楽しく過ごしている姿を見て気持ちが楽になり、私も育児を楽しめるようになりました。この子なりに成長しようと頑張っているという、当たり前のことに気がつきました。」

「家にこもることが多かったのですが、一緒に外出することで気分転換になりました。」

「一緒に料理をしたことで、今でも人参の皮をむくのは子どもの仕事です。最近はお卵を割ることもできるようになりました。」

「自分の母親から子育てに関して『こうした方がいい』『これはいけない』と言われたことがあり、悩みをビジターさんに相談したとき、『大丈夫』と言ってもらった。自分の子育てはこれで良いのだと思えた。」

ホームスタートばんげのスタッフよりメッセージ

子育ては1人で抱え込むものではありません。もっと頼っていいんだよ。

「どのご家庭を見ても、皆さん熱意を持って子育てをしています。しかし、子育ては24時間ずっと続くもので、休まる時がありません。ホームスタートは1回2時間という短い時間ですが、その間だけでも皆さんが一息つける時間になればいいなと思っています。

私たち自身、転勤などで引越した際に誰からも協力を得られなかった経験があります。自分が大変な思いをしたからこそ、自分があんなにしたいと思っただけを、今困っている誰かにしたいと思っています。

子育て中、悩むことはたくさんあります。つらい時は、自分の悩みを聞いてくれる存在がいるということをお願い出してください。」



ホームスタートばんげ
オーガナイザー・ビジター
より



会津坂下町
子ども課長
佐藤美千代

核家族化
や近隣との
つながりが

希薄になる中、子育て家庭が地域で孤立してしまう傾向があります。子育ての悩みやストレスを抱えた方に寄り添い、訪問型の支援ができる「ホームスタート事業」は、保護者の精神的負担を軽減し、地域で子育てを応援する仕組みですので、気軽にご相談いただき、是非ご利用いただきたいと思います。